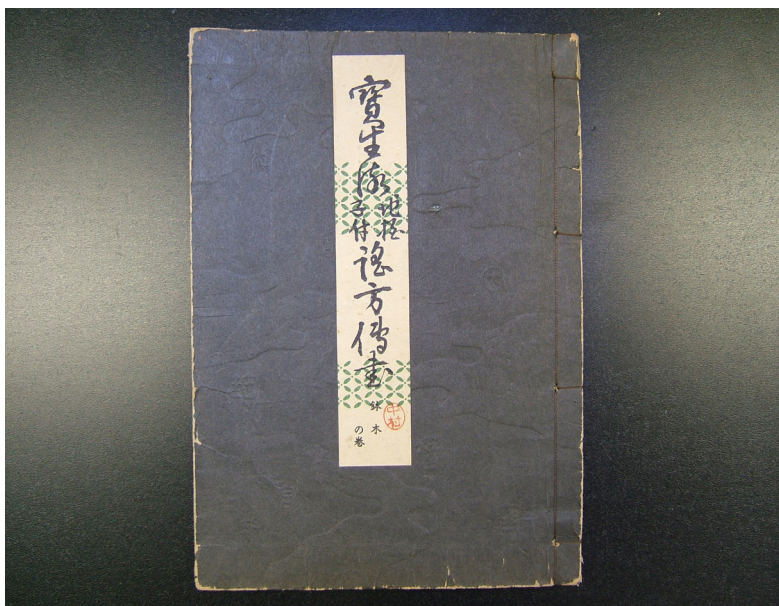


宝生九郎 『宝生流 地拍子付 謡方傳書 鉢木の巻』

最終丁に、十七世宗家の署名と花押があるのが印象的。宗家が率先して、口伝情報の開示をおこない（本書の書名が「伝書」であることに注意したい）、謡本の大膽な改革を行っているのである。半丁に詞ならば四行、節の箇所なら三行と、ゆったり行間をとる。写真下に見られるように、行間には、朱で直しを記し、歌い方の要領等の口伝情報も記す。拍子合箇所では、各句の横にすべて割付を示している。



標題 内題…

標題紙…

奥附…

その他…宝生流 地拍子付 謡方傳書

鉢木の巻 (題簽)

著者 奥附…宝生九郎

その他の場所…宝生重英 (巻末)

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…わんや書店

出版年…昭和25 (1950)

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…四四丁

寸法…21×15 (cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考